

<はじめに>

『遊び 学び 育つひろしまっ子！』育みシート(以下、「育みシート」という。)は、保育者としての経験年数や幼稚園・保育所・認定こども園等の施設類型にかかわらず、目の前にいる子供に、どのような力が育まれようとしているのか、子供の姿をもとに子供理解を深めるとともに、教育・保育の改善につなげるために作成しました。

0歳から18歳までの育ちのつながりの観点からも、乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、その育ちを支えるのが、保育者の子供理解です。

「育みシート」を用いて子供の姿を見取り、子供理解を深めることは、保育者が自身の保育を振り返り、子供が成長する上で必要な経験や保育者の関わり、環境構成の工夫などを考えることにつながり、教育・保育の質を向上させることに寄与します。

子供理解を深め、教育・保育をより良くしていくためのツールの一つとして、「育みシート」を活用いただけたら幸いです。

「育みシート」の活用によって期待されること

- 0歳児から架け橋期までの育ちのつながりを見通すことができます。
- 子供を見取る視点が多様になり、子供理解が深まります。
- 年齢の発達の特徴を踏まえた保育者の関わりを考えることができます。
- 子供理解をベースにした教育・保育における、PLAN(計画)、DO(実践)、CHECK(評価)、ACTION(改善)といった、PDCA サイクルの習慣化が図られます。

※「育みシート」及び「活用ガイド」における「子供」の表記につきましては、文部科学省に準じて、漢字表記に統一しています。